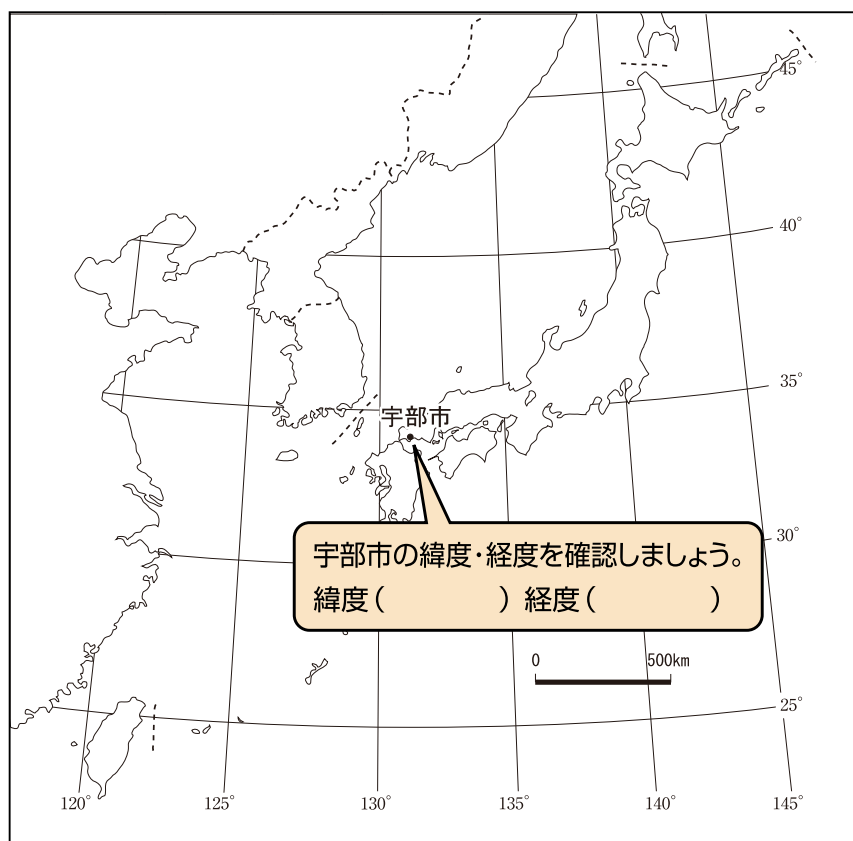


1 宇部市の自然環境にはどのような特色があるだろうか

(1) 位置

山口県は本州西端の南西部に位置し、その中でも宇部市は、東は山口市、西は山陽小野田市、北は美祢市に接しており、南は瀬戸内海（周防灘）^{すおうなだ}に面しています。また、アジアの他の国々とも近い距離にあるといえます。

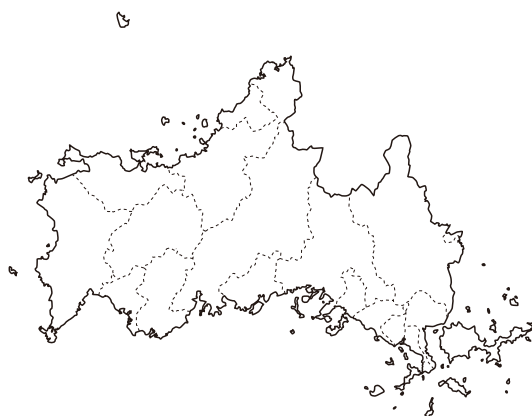


【やってみよう】

- 地図中に宇部市役所を中心とした半径500kmや1000kmの円を描いて、位置関係を確認してみましょう。
- 国内での位置関係、外国との位置関係について気がついたことなどを意見交換してみましょう。
- 地図帳を使って、宇部市と同緯度・同経度の外国の都市を探してみましょう。

【やってみよう】

- 宇部市の位置に色をつけてみましょう。



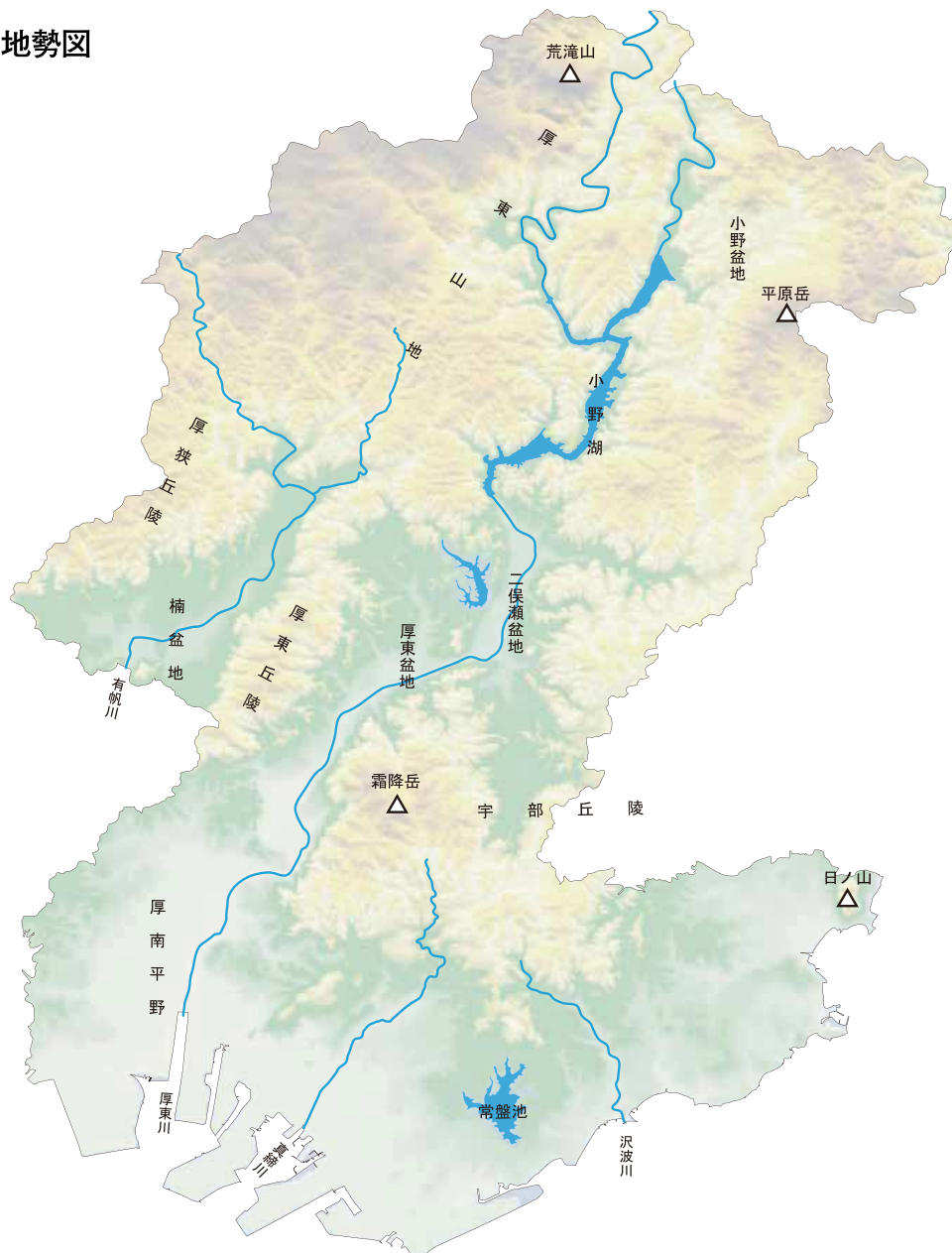
(2) 地形

宇部市の北部は、全体的におよそ標高200m程度の丘陵地が広く分布しています。中でも、北部の境界となる荒滝山^{あらたき}（459m）・平原岳^{ひらばら}（395m）は、この丘陵の上に存在し、山地を形成しています。丘陵の間にはいくつかの盆地も見られます。

また、中央部を県で3番目に長い厚東川（59.9km）が南西の方向に流れ、その西に並行して流れる有帆川^{ありほ}とともに周防灘に注いでいます。この厚東川は途中、厚東川ダムによりせき止められ、南北に約5.5kmと細長くのびた小野湖（満水面積249ha・水深20m）が形成されています。

一方で南部は、霜降岳^{しもふり}（250m）を中心とした標高200m以下の丘陵地帯で、北から南へ海岸に向かって次第に低くなり、周防灘に至っています。平野部は江戸時代以降に埋め立てられた土地が多く、人工的に作られた常盤池（満水面積87ha・水深10m）も存在します。

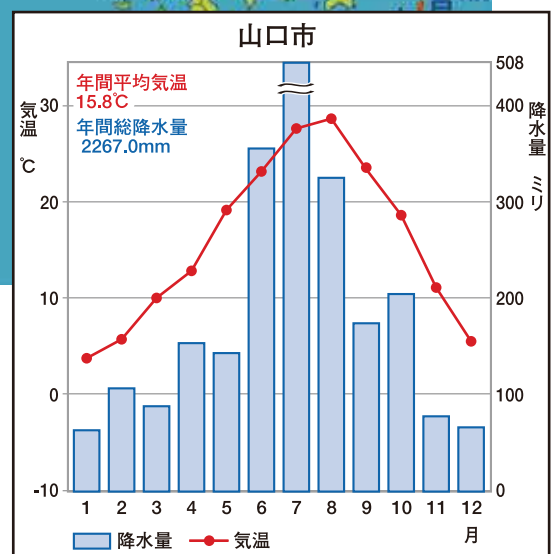
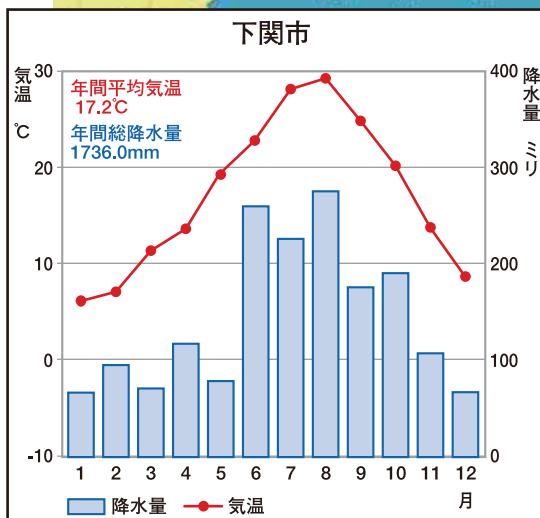
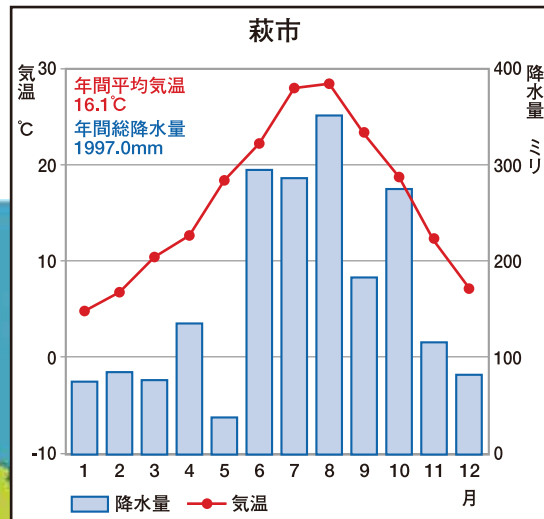
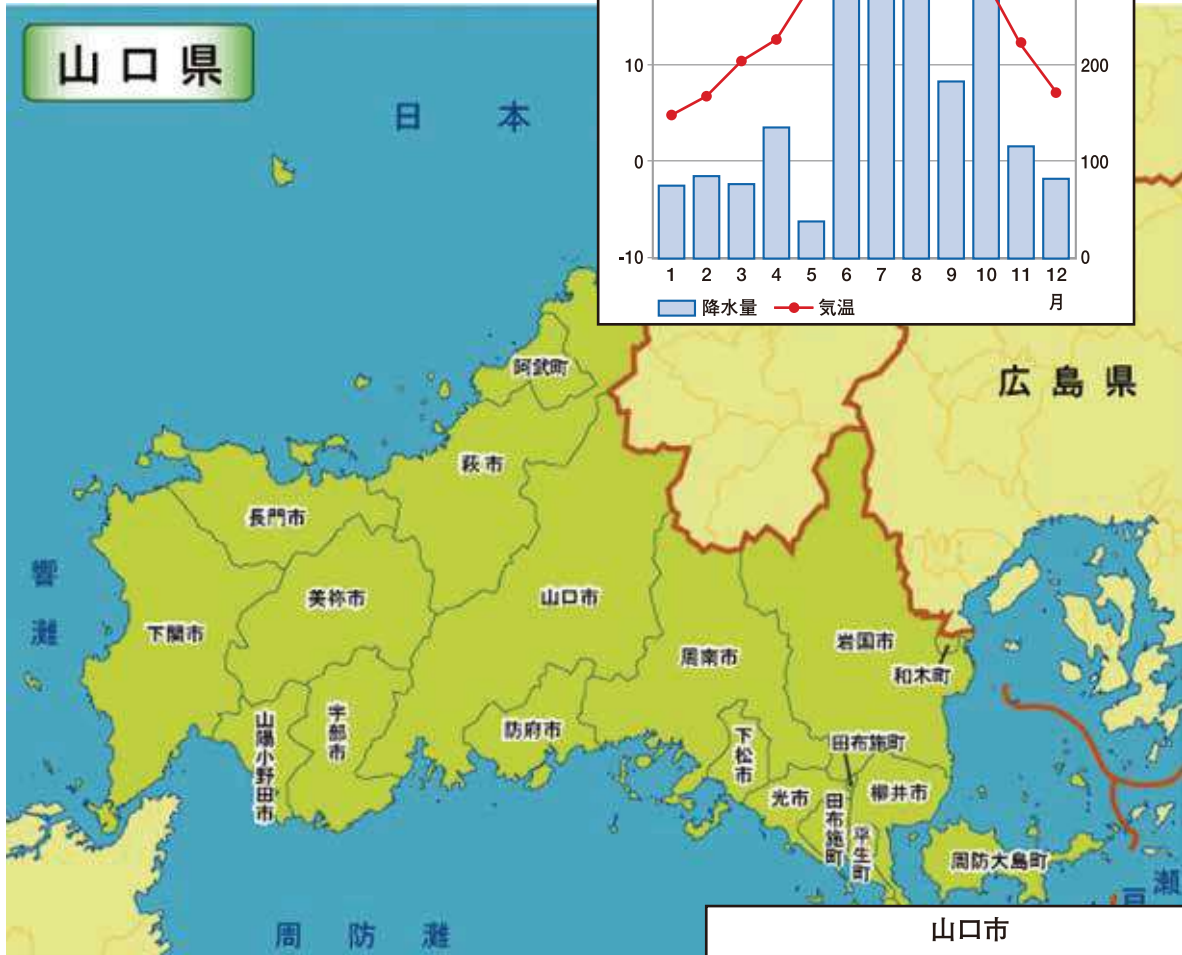
◎宇部市の地勢図



(3) 気候

本州の南西端に位置し、三方を海に囲まれた山口県の気候は比較のおだやかといえますが、地域によって違いが見られます。

◎山口県の主な市の雨温図



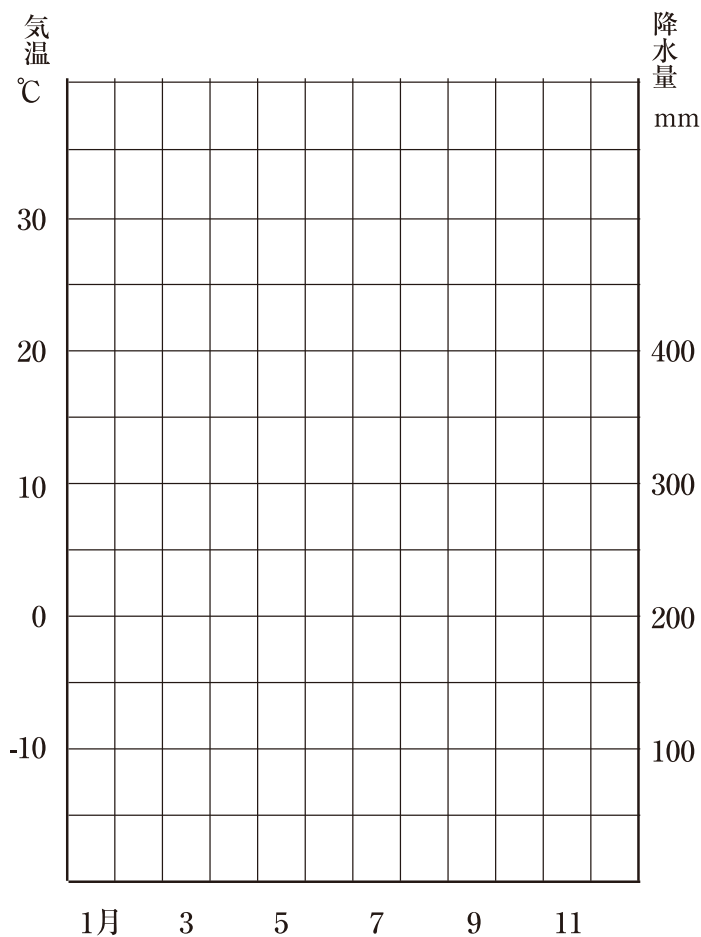
「山口県統計年鑑 平成26年度版」から

【やってみよう】

- 月別気象状況の表をもとに宇部市の雨温図を作成してみましょう。

宇部市

月	気温 (℃)	降水量 (mm)
1	5.0	48.0
2	6.3	91.0
3	10.2	70.5
4	12.9	128.5
5	18.4	71.5
6	22.3	322.5
7	27.1	145.5
8	28.6	254.0
9	24.1	126.5
10	19.6	142.0
11	12.8	79.5
12	7.6	48.0
	年間平均気温	年間総降水量
	16.2	1527.5



「山口県統計年鑑 平成26年度版」から

【知っておこう】

■雨温図とは

雨温図とは、月別の平均気温と降水量を同時にグラフに示したもので、気候の特色を読み取ることができるとともに、他の都市とも簡単に比較することができます。

■雨温図の見方

- ・横軸に1月から12月までの各月が割り当てられています。
- ・縦軸左には気温の数値（℃）が示してあり、各月の平均気温の変化を折れ線グラフにより表します。1日の平均気温とは「3,6,9,12,15,18,21,24時の8観測時点」の気温を平均化したものです。また、1日の平均気温を集計して、1か月の平均を出しています。北半球の温帯に属する日本では、一般的に7・8月を頂点とした山型になる傾向が見られます。
- ・縦軸右には降水量（mm）の数値が示してあり、各月の降水量の変化を棒グラフにより表します。日本では、一般的に6月（梅雨）、9月（台風）の値が高くなりますが、日本海側などでは、降雪により冬季の値が高くなる地域もあります。